

(議長)

休憩を閉じて、再開いたします。

(議長)

次に、塚本議員の発言を許可致します。

塚本議員。

「塚本議員」

私からは、本定例会、ま、年度初めということもありますし、4問の質問をさせて頂きます。

まず、第1問ですが、江差町における、防災対策の見直し(点検)についてであります。冒頭、町長のご挨拶にもありましたが、1月1日の能登半島地震による亡くなった方々へ、謹んでご冥福をお祈りすると共に、被災者の方々にお見舞い申し上げ、一刻も平穏な生活に戻られますようお願いばかりであります。

この度の災害を通じ、日本海沿岸における災害に対し、江差町においても冬期の災害予防の点検と同時に見直しを含めて、再検討していく必要があると考えております。

冬期の災害では、避難所において第1に暖房の確保や飲料水の確保、断水が発生した場合の簡易トイレの確保など多面にわたります。

この度、江差町より職員が珠洲市の復旧支援に携わった経験も大いに、この見直しに役立つことが考えられます。

えー、昨年5月、あ、5年ですね、5年の3月に、この出来たばっかしの、この分厚い防災計画、我々もいただいておりますが、あの、出来たばっかして見直しするのかっていう話もあるんですが、あのー、詳細までに謳っている部分が必ずしも、あるとは言えませんが、今、このような計画は作っただけでなくて、一定程度、他の町村においても、ま、これらの、ま、江差町と違って昨年作っているかどうかわかりませんが、えー、防災計画の見直しの動きがあるというふうにも伺ってます。

江差町としての対応をお伺い致します。

(議長)

町長。

「町長」

塚本議員からの防災対策に関するご質問にお答え致します。

当町における地域防災計画は、災害対策基本法や防災基本計画など、関連計画の改訂に対応するため、令和5年3月に大幅な見直しを行ったところです。

議員ご指摘の冬期における対策としましては、主に積雪寒冷対策計画における寒冷

対策の推進として、避難所対策、被災者及び避難者対策、住宅対策などを掲げております。

また、災害時備蓄計画においては、想定災害を地震最大震度6.2、避難者数1,124人として行政備蓄を掲載しているところです。

今回の能登半島地震による珠洲市への災害支援につきましては、議会の承認、議決を頂き、義援金を始め管内各町及び檜山振興局のご理解、ご協力により職員を派遣したところですが、厳冬期における被災地滞在支援を行ってきた経験は、今後に役立てるべきとの考えは議員と意を同じくするものです。

毛布やストーブなどの厳冬対策、トイレの使用が出来なくなった場合の対策など、地域住民とともに、厳冬期の被災を想定した再点検を行う必要があると考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

塚本議員。

「塚本議員」

えー、再質問ではありませんが、江差町防災会議は、えー、基本法第42条の定めるところにより、計画に随時、検討を加えるというふうな条文も一文ありますので、必要な部分はあれば、随時、それに更に修正を加えて、より実行性のあるものに、えー、作り直すこともお願いして、第1問目を終わらせて頂きます。

えー、2問目に入らせて頂きます。江差町におけるデジタルトランスフォーメーション、進めるための具体的な推進についてであります。

えー、町長の先程の執行方針で、デジタルトランスフォーメーション、ま、以下DXと言いますが、これを追求していくという部分があります。

自治体に求められるDXは、地域住民の利便性や行政サービスを向上させるためのものと考えてます。そのための一環として、マイナンバーカードを活用していくことや、行政手続きのオンライン化、テレワークの推進、セキュリティ対策の徹底、ま、先程の話ありましたが、ま、脱ハンコなどのが挙げられます。

江差町においては、DXをどのように取り進めるのかをお伺い致します。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

塚本議員からのデジタルトランスフォーメーションの推進に関するご質問にお答

えを致します。

これまで町独自の取組として、地域公共交通や健診、ワクチン接種の予約、保育所や小中学校との連絡ツールや納税、図書館蔵書検索、アンケート調査などに加え、農業や水産業分野でのICT活用の他、国の制度としてマイナンバーカードの利用を通じた転入転出手続き、税情報の連携、税分野での電子申告などの取組を行ってきているところです。

議員ご指摘のように、デジタルトランスフォーメーションによる利便性と効率化を図ることは重要なものと認識しておりますが、現状を維持した場合とデジタル化に移行した場合の比較検討が出来ていないことから、まずはこれらの比較検討を進めた上で、人材や財源の確保、もたらす効果など、総合的な見地からデジタルトランスフォーメーションに取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思いません。

(議長)

塚本議員。

「塚本議員」

はい。議長。

ま、国が、大々的にこのDXを推進するというので、各市町村に下ろしてきてますが、場合によっては、非常に、あの一、支出変更等による膨大な予算が掛かるということも想定されます。えー最終的には、ま、行政の効率化と住民サービスの向上、この辺をしっかりと見据えながら、えーランニングコスト等も検討して今後のDX推進に努めて参りたいと、そういうふうにと考えるとあります。

えー、続きまして、3問目に入らせて頂きます。

江差町におけるパートナーシップ制度における、制度に対する考え方であります。えー、照井町長はこれまで、不幸ゼロのまちの実現を図ると明言をしております。江差町に在住しているすべての町民が、江差町に住んで良かったと思えるまちづくりが重要であります。そこで、近年道内、ま、近隣では、函館市、北斗市も含めますが、多くの市町村がLGBTなどのカップルを認めるパートナーシップ制度の導入の動きがあります。令和6年度末には、道内で約8割の市町村で、あ、6年度末ですね、6年度末には、道内で8割の市町村が、導入を進める、更には、また導入予定が、動きがあるというような情報も得ておりますが、江差町としても、一人一人の個性を尊重し、誰一人取り残さないためにも、同制度の導入に向けた検討が必要と思われませんが、えー、江差町での見解をお伺い致します。

(議長)

議長。あ、議長じゃない。

町長。

「町長」

塚本議員の3問目、パートナーシップ制度に関するご質問にお答え致します。

去る1月に新聞報道された内容によりますと、パートナーシップ制度を既に導入している10市に加え、2024年度末までに導入を予定している19市町、市と町を含めると、道内人口の7割が本制度を利用可能になるということでございます。

近年、同性同氏の結婚が認められないのは憲法違反だとして、各地で国を訴える訴訟が起きており、1審では違憲や違憲状態との判決が立て続けに出ています。

こうした司法の判断などを踏まえ、本来であれば国の制度として確立させるべき案件だと考えています。しかしながら、国による制度化の議論が一向に進まない状況から、地方出来る取り組みをやっていこうというのが、今日のパートナーシップ制度の広がりだと認識しています。

私は、誰にとっても望まない要因のゼロ化を目指す、不幸ゼロのまちの実現を目指しています。その一環として、江差町も他の先行自治体の取り組みを参考にして、令和6年度中のパートナーシップ制度の導入を目指して参りたいと考えております。

(議長)

塚本議員。

「塚本議員」

えー、北海道や、えー道の動きが、えーなかなか腰が重いという中で、全道の市町村もそういう動きがありますし、江差町も前向き検討するという事で、大変うれしく思って次の質問に入らせて頂きます。

えー、4つ目の最後に質問になりますが、学校図書館で子供の読書活動を支える学校図書司書の配置についてであります。

えー、文部省の調査では、専任の学校司書が配置されている公立小中学校は47%、司書を全く配置していない学校が11%となっております。本をそろえるだけでは、学校図書館の活用が進みません。司書の配置は、学びの差につながると考えます。2016年度施行の改正学校図書館法で、小中高への配置が自治体への努力義務とされております。教育長の先程の方針の中には、えー、読書は心の栄養素という強いお言葉も聞いております。えー、江差町における今後の学校図書司書の配置する考えについて、お伺い致します。

「教育長」

教育長。

(議長)

教育長。

「教育長」

学校司書の配置に関して、ご答弁申し上げます。

塚本議員の仰るとおり、学校図書館法第6条第1項に、配置に関する努力義務の規定がうたわれております。

学校司書は、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員とされています。

現在、江差町において学校司書の配置はされておりませんが、司書教諭の資格を持つ教員や、江差町図書館の司書の協力を仰ぎながら、学校図書館の充実に努めているところでもあります。

また、児童生徒の要望も取り入れ、各学校において学校図書館の購入を行っており、全校一斉の読書活動や、国語や社会などの授業においても、学校図書館を活用した取り組みが行われております。

議員からは、学校司書の配置に関する考え方とのご質問でございますが、現時点においては、これらの取り組みを継続的に進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解願います。

(議長)

塚本議員。

「塚本議員」

えー、学校図書館の配置は、中々有資格者の確保等で大変です。ただあの一、色んなデータによりますと、学校司書、図書司書を配置することによって、子供たちの読書が倍増しているというデータもあります。

今後、配置に向けた教育委員会等の更なる検討をお願いして、質問を終わります。

(議長)

以上で、塚本議員の一般質問を終わります。